点訳資料　6

点字楽譜のレイアウト　器楽曲編（凸面）

楽譜点訳の会「星」
２００５年9月１０日
２０１１年2月１９日改訂
２０２５年6月７日改訂

◎ 楽曲を小節番号、練習番号等で区切った時、そのまとまりの段をパラレルと称した。

単旋律曲と合奏曲

	単 旋 律 曲	合 奏 曲
書き出し	・３マス目より記し、次行は１マス目	・各パートは、１マス目より記し、次行は３マス目
楽器名　※	・旋律の始まりの書き出し位置に記す ・楽譜に楽器名が書いてある時は、タイトルの次行に記す	・各パートの旋律の始まり、及び編成が変わった時、書き出し位置に記す ・楽譜に楽器名が書いてある時は、タイトルの次行にも記す
小節番号	・必要に応じて記す（数符は省略）	・単旋律曲と同様
練習番号※	・前の行は空け無し ・独立行に５マス目より記す ・練習番号と発想用語など同じ場所にある時、練習番号の後２マスあけてその行に記す	・前１行空ける ・他は単旋律曲と同様
調、拍子記号	・曲の途中で調、拍子のどちらかに変化があり５マス目にたてる時、調と拍子はセットと考え両方を記す ・曲想のみが変わり５マス目にたてる時も調、拍子を記す	・単旋律曲と同様

サブタイトル トリオ、メヌエット、ロンド等	・曲により判断し、７マス目か５マス目、または標語扱いにしてカッコに囲んで記す ・７マス目表記は、前１行あける。タイトルは文字扱いなので大文字符はメインタイトルに揃える。ピリオドは英語表記 次行５マス目より調、拍子記号を記す ・５マス目表記は楽譜扱い	・単旋律曲と同様
ページ変更線	・特に指定がなければ不要	・記す
パラレル間	・行空けは無し	・１行空ける
その他	・パラレルの途中で改ページになっても、パラレルが続いているとみなし、次ページは１マス目から記す	
	・パラレルの区切り方に指定がある場合でも、必要に応じて指定以外の場所で区切ることがある	・単旋律曲と同様

※　<u>楽器名</u>

バイオリン　⠠⠃⠊⠕⠇⠊⠝　（原本にＶ１．とある時には　⠠⠃⠊⠕⠇⠊⠝）

バイオリンⅠ　⠠⠃⠊⠕⠇⠊⠝⠼⠁　バイオリンⅡ　⠠⠃⠊⠕⠇⠊⠝⠼⠃

フルート　⠠⠋⠇⠥⠞⠑　ヴィオラ　⠠⠧⠊⠕⠇⠁

オカリナ　⠠⠕⠅⠁⠗⠊⠝⠁　チェロ　⠠⠉⠓⠑⠇⠕

ギター　⠠⠛⠊⠞⠁⠗　サキソフォン　⠠⠎⠁⠭⠕�פ⠝

長い楽器名の時は、レ下がりカッコに入れるか、点訳者挿入符で略記号を記す。
点訳者挿入符の入れ方はタイトル、作曲者名等の後１行空け３マス目から記す。
次行は１マス目。点訳者挿入符の後は１行空ける。

→
□□⠶⠶・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・⠶⠶

※　<u>練習番号</u>

・練習番号のみの時（例：練習番号Ａ）（A’　A”）

□□□□⠼⠁⠨⠼　（⠼⠁⠨⠄⠼　⠼⠁⠨⠄⠄⠼）

・練習番号と発想用語など同じ場所にある時、同じ行に記す。

（例：練習番号Ａ　　Ａｌｌｅｇｒｏ　　３／４　）

□□□□⠼⠁⠨⠼□□⠁⠨⠇⠇⠹⠶⠦⠹□□⠆⠶⠲

・ただし、曲の冒頭にＩｎｔｒｏ又はＡなどと記されている時は改行し、
５マス目から記す。楽譜によりレ下がりカッコに入れても良い。

（例：Ｉｎｔｒｏ　　Ａｌｌｅｇｒｏ　　３／４　）

□□□□⠁⠨⠇⠇⠹⠶⠦⠹□□⠆⠶⠲

□□□□⠁⠈⠹⠶⠦⠹

（例：Ｉｎｔｒｏ　　Ａｌｌｅｇｒｏ　　３／４　）

・・・・・・・・

A

・・・・・・・・

□□□□⠁⠨⠇⠇⠹⠶⠦⠹□□⠆⠶⠲

□□□□⠼⠁⠈⠹⠶⠦⠹⠲⠼

・・・・・・・・

□□□□⠼⠁⠨⠼

・・・・・・・・